

岡山市の高齢者活躍推進事業について

1 北九州市と岡山市の高齢化の状況

	岡山市	北九州市
総人口(人)	696,280	916,003
高齢者人口(人)	188,939	288,927
高齢化率(%)	27.1	31.5
単身の高齢世帯数	35,368	65,358

※令和6年3月31日現在(住民基本台帳による)。単身の高齢世帯数については、令和2年国勢調査による。

2 岡山市の高齢者活躍推進事業

(1) 事業趣旨

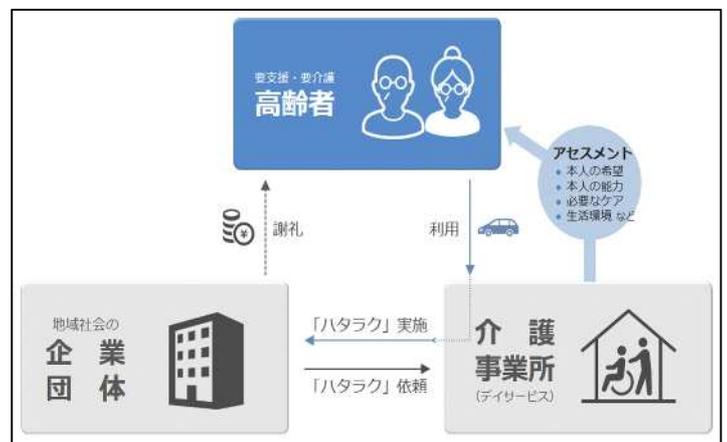
高齢者が要介護状態になっても、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていけるように、介護事業所において就労・社会参加活動が可能となるような取組や啓発活動等を実施するもの。(令和3年4月から実施開始)

(2) 具体的な取組「ハタラク」

意欲と能力のある要介護高齢者が、通所介護事業所の介護保険サービスを通して地域を舞台とした就労・社会参加活動「ハタラク」を行うもの。

【スキーム】

「ハタラク」希望の要介護高齢者が、サービス提供可能なデイサービスを利用。デイは地域の企業等から「ハタラク」仕事を獲得し、利用者に提供。企業は謝礼がある場合は、利用者へ支給。



【市の取組】

「ハタラク」実施希望のデイサービスをモデル選定。事業の意義や実施ポイントを関係者間で共有。モデル事業所の取組を伴走支援。令和6年度もモデル事業所を選定しており、継続して支援予定。

【実績(累計)】

	R3	R4	R5	R6
参加事業所数	2	4	7	8
事業参加者数	未集計	23	35	—
協力企業・団体数	4	7	15	—

3 岡山市における当該事業の特色(聞き取り)

(1)運営方法

- ・三者(高齢者、介護事業所、企業)のマッチングや進行管理などは、介護事業所(モデル選定)が行っており、市は伴走しながら活動の場を開拓支援。
- ・事業の起こりも、介護事業所発信でスタート。

(2)組織体制と予算内容

- ・事業実施にあたっての関連部署は、保健福祉局(医療政策推進課、地域包括ケア推進課、高齢者福祉課)と関係団体(社会福祉協議会、地域包括支援センター)のみ。
- ・R6年度予算は1,538千円(印刷製本費、通信運搬費、研究・調査・計画委託費)

(3)課題感やメリット

- ・課題は、介護事業所単独での就労や社会参加活動の確保が困難であること。
- ・高齢者は「健康促進と生きがいづくり」、介護事業所は「自社PRによる入所者増加と要介護度の維持(改善)」、参加企業としては「地域社会貢献と自社PR」がメリット。

(4)その他

- ・対象となる高齢者はデイサービスを利用している要支援、要介護認定者で要介護者が主。

4 北九州市の状況

北九州市において、企業からの謝礼を伴う社会参加活動に取り組む介護サービス事業所は見当たらない。